News of The Japanese Weekend School of New York

# BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle, NY 10801
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成 26 年 11 月 28 日　No.16
発行責任者：校長　櫻井郁男

## 最優秀とは・・・作文コンクール



全校児童・生徒に必修として作文コンクールへの参加を促しました。学習指導要領には、国語の目標及び内容として「話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと」と、大きく３つの領域が示され、作文は書くことにあたります。

そこで各学年における「書くこと」に関する目標を確認しました。

小学校１・２年・・経験したことや想像したことなどについて，順序を整理し，簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに，進んで書こうとする態度を育てる。

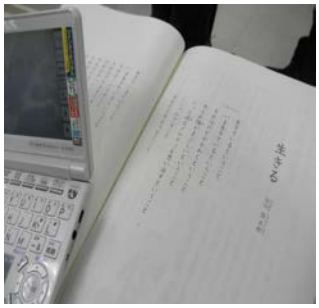
小学校３・４年・・相手や目的に応じ，調べたことなどが伝わるように，段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに，工夫をしながら書こうとする態度を育てる。

小学校５・６年・・目的や意図に応じ，考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに，適切に書こうとする態度を育てる

中学校１年・・・目的や意図に応じ，日常生活にかかわることなどについて，構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに，進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。

中学校２年・・・目的や意図に応じ，社会生活にかかわることなどについて，構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに，文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。

中学校３年・・・目的や意図に応じ，社会生活にかかわることなどについて，論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに，文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。



これら発達段階に応じて示された目標を意識しつつ読み進み児童・生徒の感性や想像力・思索に関心し、感動させられています。と同時に、コンクールを提案した当事者が「何を持って最優秀と云えるのか」との思いをめぐらせています。

たとえば、森鴎外・夏目漱石・芥川龍之介・三島由紀夫・・・・優劣を語ることができるでしょうか。

今回、評価規準に学習指導要領を引用いたしましたが、最後は「撰者が評価される」との覚悟で、サンクスギビングを過ごしております。